

11期 外国文化を楽しむ科

～え！そなん・ふしぎやね～..

日時： 12月6日(水) 10時～12時
場所： 北大阪生涯学習センター
講師： ツェレンダグア ムンフバヤスガランさん
内容： 「大草原モンゴルの文化」



・講師のツェレンダグアさんは高校生の時まで祖父母と一緒に遊牧生活を送っていた。ウランバートルの大学に行き、大阪大学大学院の留学生になり、大阪大学非常勤講師として勤務。箕面国際交流センターの職員。

遊牧文化を世界に広めたいと活動している。

「羊から見たモンゴル」というテーマでお話をさせていただきました。

モンゴルでは羊は家族同様であり、財産でもある

日本ではモンゴルの料理はジンギスカンと思われているが

あれはモンゴルの料理ではない。モンゴルではラム肉は食べない。

い。 **モンゴルの四季**

春 3月・・・羊の出産期

夏・・・6から9月 羊の乳しぼり。絞ったミルクはヨーグルト、クリーム、バター、チーズなどに加工して食べる。乳製品は40種類くらいある。

6月初旬は羊毛刈ってフェルトも作る。ヤギの毛で洋服やマフラー、くつも作る。ツェレンダグアさんが今日着ている服は羊の毛で作っている。

秋は厳しい冬をのり越えるための準備。マイナス40度になることもある。人間の体を温めるため冬は羊肉を食べる。

春は乳製品を食べ冬は羊肉を食べる。 羊は捨てる場所がない。骨も遊び道具になる。

モンゴルの人口は15才から45才が7割を占める。日本とは大違い??

お話の後質問タイムではゲルでの遊牧生活のことで多くの質問が出た。トイレ問題や、定住のこと土地はどうなっているのか? まだまだ知らないことが多いモンゴル。また話を聴きたいという声も出た。

午後の活動 受講生による 世界を旅してシリーズ・・・

台湾について

日本人で台湾のために尽くした「八田與一氏」のお話は初めて聞いた。

(まとめ CA 高山)

